

# 全国へき地教育研究大会～兵庫大会～ 子どもがつくる算数の複式ガイド学習

## 1 算数研究の歴史

本校では、平成元年から30年以上、算数科教育を研究しています。複式学級では、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生、それぞれ2つの学年が同じ教室で学習をします。別々の内容を学習しようとするとき、学級担任は一人で両方の学習を進めなければなりません。そこで、担任が一方の学年を見ている間も、子どもたちが自分たちで学習をすすめることを目指します。

## 2 子どもがつくるガイド学習

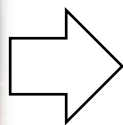
母子小学校では、子どもがつくる算数科学習の子どもの姿として次の3つのことを考えています。

- 自ら学習に主体的に関わっていく。
- 自分たちの学習を自分たちで創り上げる。
- 学習に対して、常に課題意識と見通しを持って取り組む。

そして、子どもがつくるガイド学習とは、まずひとり学習で学習の構えと見通しを持ちます。そして、ガイド学習の中のコミュニケーションつまり、おたずね等によって学習の深化をはかり、新たな学びへとつなげていきます。



積み上げていくと



学習と生活を結びつけて



かさくらべ(1年生)

集めた容器で、どうしたらくらべられるかな？。



低学年では、教師の支援のもと進めていたガイド学習も、高学年になると自分たちだけで進めるようになってきます。

1年生「いくつといくつ」の学習では、高学年にも手伝ってもらって学習しよう。



1人学年では、共同学習者が子ども役で共に学んでいます。

### 3 校内研修会

市の内外を問わず、県外からも、たくさんの先生が本校の算数の学習を参観に来られます。母子小学校の子どもたちの算数の学習が広く注目されています。

#### ① 第1回公開授業研修会 5月22日(月)

学年		単元名	指導者
複式	5年	小数のかけ算	濱田綾香 中西雅治
	6年	分数×分数	

【講師】 河田 慎太郎 先生(奈良女子大学附属小学校)

#### ② 第2回公開授業研修会(校内研修会) 6月19日(月)

学年		単元名	指導者
単式	1年	ひきさん(1)	細見有美 中西雅治
	2年	図をつかって考えよう	
複式	3年	一万をこえる数	武田政幸 野垣佳代
	4年	垂直・平行と四角形	

【講師】 河田 慎太郎 先生(奈良女子大学附属小学校)

### 4 第72回 全国へき地教育研究大会～兵庫大会～

10月13日(金)

学年		単元名	指導者
複式	3年	何倍でしょう～何倍になるかを考えて～	武田政幸
	4年	割合～何倍になるかを考えて～	
複式	5年	面積～台形・ひし形の面積～	濱田綾香 野垣佳代
	6年	円の面積～面積の公式を使って～	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 河田 慎太郎 先生

「子どもの深い学びを目指したつなぐ力の育成～子どもがつくる算数科学習を通じて～」をテーマとして研究を進めてきました。その中で、ひとり学習、おたずね、つなぐ力について、校内研修会などを通じて研究を深めてきました。毎年9月下旬～10月上旬に研究発表会を行っています。市内はもとより県内各地から参観していただき、「母子の算数・複式ガイド学習」への関心の高さがうかがえます。

今年度は、「第72回全国へき地教育研究大会～兵庫大会～」の会場校の1つとして研究発表を行いました。北海道から沖縄まで全国各地の先生方が参観に来られ、また多くの交流を通して、これまで積み上げてきた母子の研究を全国の先生方に知っていただく機会となりました。

